

## 【講義】強度行動障害とは

この時間は、強度行動障害という状態像や有効な支援方法についての概要を学びます。対象者を知り、効果的な支援の概要を理解することが目標です。この講義で知ってもらいたいことは、以下の5点です。

- 「強度行動障害」と言われる人がいること
- どのような人たちなのか
- 強度行動障害は環境との相互作用で引き起こされる
- 支援によって（ある程度は）改善する
- 6つの支援のスタンダード

# この講義の内容

## 1. 強度行動障害とは

- 定義
- 事例映像 (強度行動障害支援者養成研修用資料)

## 2. 強度行動障害者支援の基本的な視点

- 障害特性：知的障害
- 障害特性：自閉症
- なぜ強度行動障害になるのか？
- 6つの支援のスタンダード

## 3. まとめ

# 強度行動障害とは | 定義

精神科的な診断として定義される群とは異なり、直接的他害（噛み付き、頭突き等）や、間接的他害（睡眠の乱れ、同一性の保持等）、自傷行為等が通常考えられない頻度と形式で出現し、その養育環境では著しい処遇の困難な者であり、行動的に定義される群

家庭にあって通常の育て方をし、かなりの養育努力があっても著しい処遇困難が持続している状態

（行動障害児者研究会、1989年）

# 映像資料 | 強度行動障害

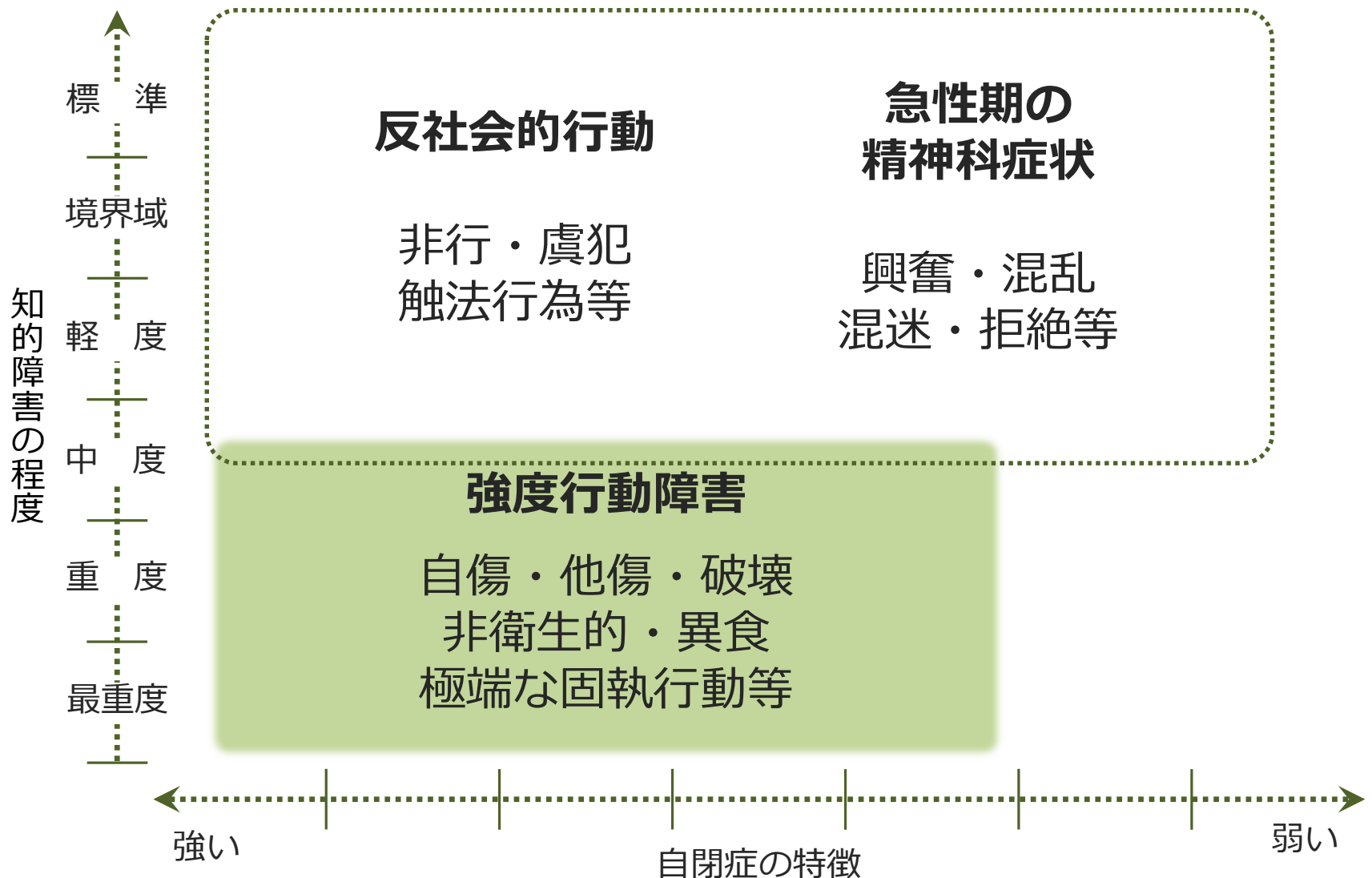


## 【事例の概要】

- 各事例、約 3 分
- 5 事例
- 行動障害が表れている時の映像
- 障害特性に即した支援の映像
- 行動障害が軽減した、あるいは普段の穏やかな時の映像

※映像資料（DVD）は各都道府県に 2 枚配布されています

# 強度行動障害になりやすいのは



# 知的障害とは | IQの目安

## 知的障害の定義

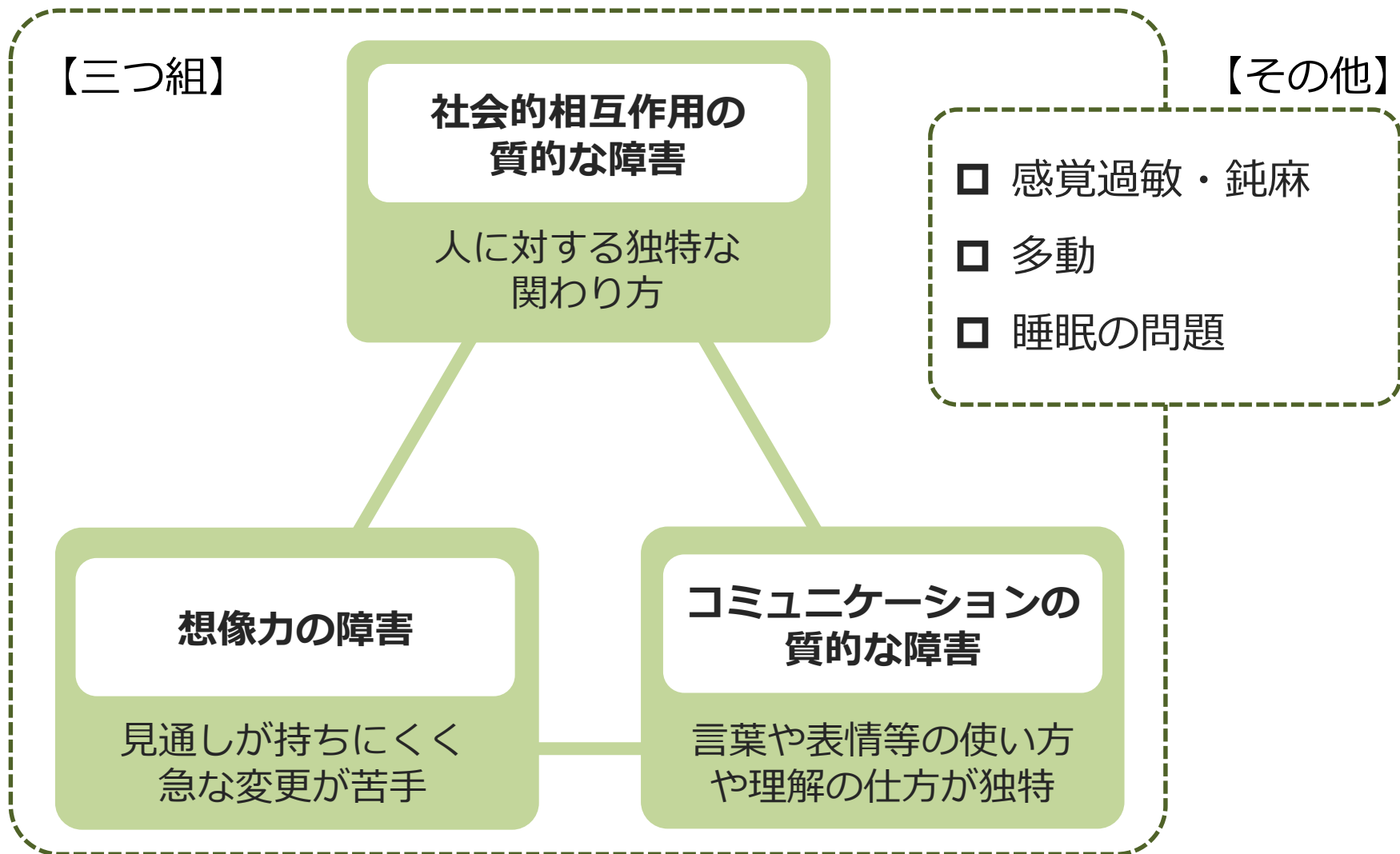
- 発達期（おおむね18歳未満）に遅れが生じること
- 遅れが明らか（IQ70以下）であること
- 遅れにより日常生活への適応に困難があること

|     |    |    |    |     |    |
|-----|----|----|----|-----|----|
| 20  | 35 | 50 | 70 | 85  |    |
| 最重度 | 重度 | 中度 | 軽度 | 境界域 | 標準 |

# 知的障害とは | ICD-10の分類

|  |           |
|--|-----------|
| 軽度 (Mild mental retardation : IQ 50-69)  | …B2 / IV  |
| 成人期においてその精神年齢は概ね9歳から12歳相当。学齢時に学業不振が表面化する場合が多い。社会的な興味は年齢相応である。成人になってから、仕事に就き、良好な人間関係を保ち、結果的に地域社会の一員として周囲から評価されている事例が多く、そのような能力をもっている。 |           |
| 中度 (Moderate mental retardation : IQ35-49)   | …B1 / III |
| 成人期においてその精神年齢は概ね6歳から9歳相当。幼児期から発達の遅れが顕著であるが、基本的な身辺自立やコミュニケーション能力、そして読み書きについては一定レベルの学習は可能である。社会生活や就業生活に必要な支援の程度には個人差がある。               |           |
| 重度 (Severe mental retardation : IQ20-34)   | …A2 / II  |
| 成人期においてその精神年齢は概ね3歳から6歳相当。12歳頃までに2語文程度を用いる。人生のどの時期においても、生活のさまざまな場面で他者からの継続的な支援が必要である。   |           |
| 最重度 (Profound mental retardation : IQ 20以下)  | …A1 / I   |
| 成人期においてその精神年齢は概ね3歳未満。身辺自立や節制 (がまん)、コミュニケーション能力、さらには外出・移動において相当の制限がある。  |           |

# 自閉症とは | 三つ組の障害





# 自閉症とは | 社会的相互作用

## 社会的相互作用の4つのタイプ

- 「孤立群」「受容群」「積極・奇異群」  
「形式ばった大仰な群」

## 独特の関わり方

- 人への無関心
  - 名前を呼ばれても反応せずに自分の活動に没頭
  - 道具のように人と接する（例：クレーン）
- 一方的な関わり
  - 相手の反応を気にせずに一方的に話しかける
  - 相手の話には興味を示さない
- ルールへのこだわり・過度に堅苦しい態度

# 自閉症とは | コミュニケーション

## 独特の伝達の仕方

- 知っている言葉を会話でうまく使えない
  - 伝える意図のない独語
  - 意味を伴わないフレーズの繰り返し（エコラリア）
- 言葉以外の手段をうまく使えない
  - 視線が合わない、過剰に目が合う
  - 抑揚のない話し方

## 独特の理解の仕方

- 言葉自体の理解ではなくパターンによる理解
- 字句どおりの解釈
- 冗談や皮肉の理解が難しい

# 自閉症とは | 想像力・反復的な行動

## 目の前にないことへの理解が困難

- 物事の先の展開（これからどうなるのか）
- その展開に至った背景（どうしてそうなったのか）
- 急な予定の変更を苦手とする
- 過去の経験や知識を生かすことを苦手とする

## 興味や関心の偏り・反復的な行動

- ごっこ遊びよりも感覚遊び（幼児期）
- パターン化したこと以外の見通しを持ちにくい
- 特定の物やパターンへの執着
- いつも同じ状態であることへの強いこだわり

# 知的障害と自閉症

## まとめ

- 情報を受け取ること・表現することが難しい
- 感じ方や考え方が独特で共有しにくい

⇒ 「わかろうとする努力」と「伝える工夫」が必要

## 知的障害と自閉症の併存

- 知的障害が重度であればあるほど、自閉症の併存率は高くなる
- IQ30以下では併存率は7割以上（杉山, 2008）

⇒ 診断がついていなくても自閉症の人はいる

# ヒントシート

■ 知的障害や自閉症の特徴  
障害特性について、より具体的に紹介した内容

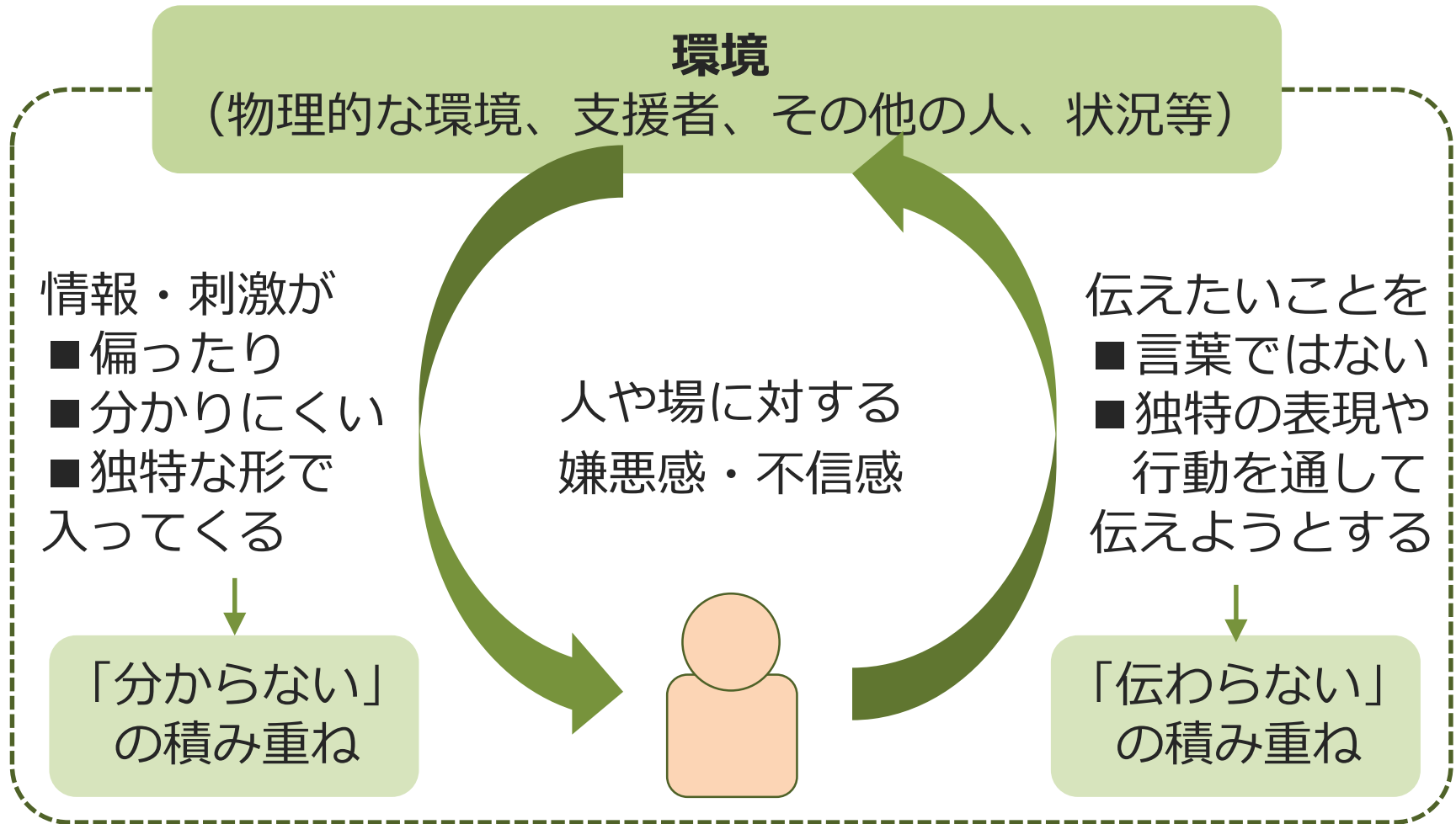
■ 特徴や障害特性をしっかりと理解することで、より正確に対象者を理解することに繋がります。

□ 2日目の演習時にも、このヒントシートを使います。

## 想定される 障害特性

- ① ことばを聞いて理解することが苦手
- ② 表情や身振りを、誤って理解してしまう
- ③ 人や場面によって態度を変えられない
- ④ 他の人の興味あることに関心が薄い
- ⑤ 全体をとらえて関係性をつかむことが苦手
- ⑥ 別のやり方を探したり臨機応変な対応が苦手
- ⑦ 集団で一斉に行動することが苦手
- ⑧ 「いつ終わる」かを理解するのが苦手
- ⑨ 抽象的、あいまいなことの理解が苦手
- ⑩ 経験していないことを想像することが苦手
- ⑪ 特定の物事に強く固執
- ⑫ 記憶することが苦手
- ⑬ 発達（認知能力）がアンバランス
- ⑭ 特定の行動を何度もくりかえしてしまう
- ⑮ 期待されていることに注意が向かない
  - ・落ち着きがなく、その場にとどまっていられない
  - ・結果をかえりみず突然反応してしまう
- ⑯ 特定の感覚が過敏、または鈍い

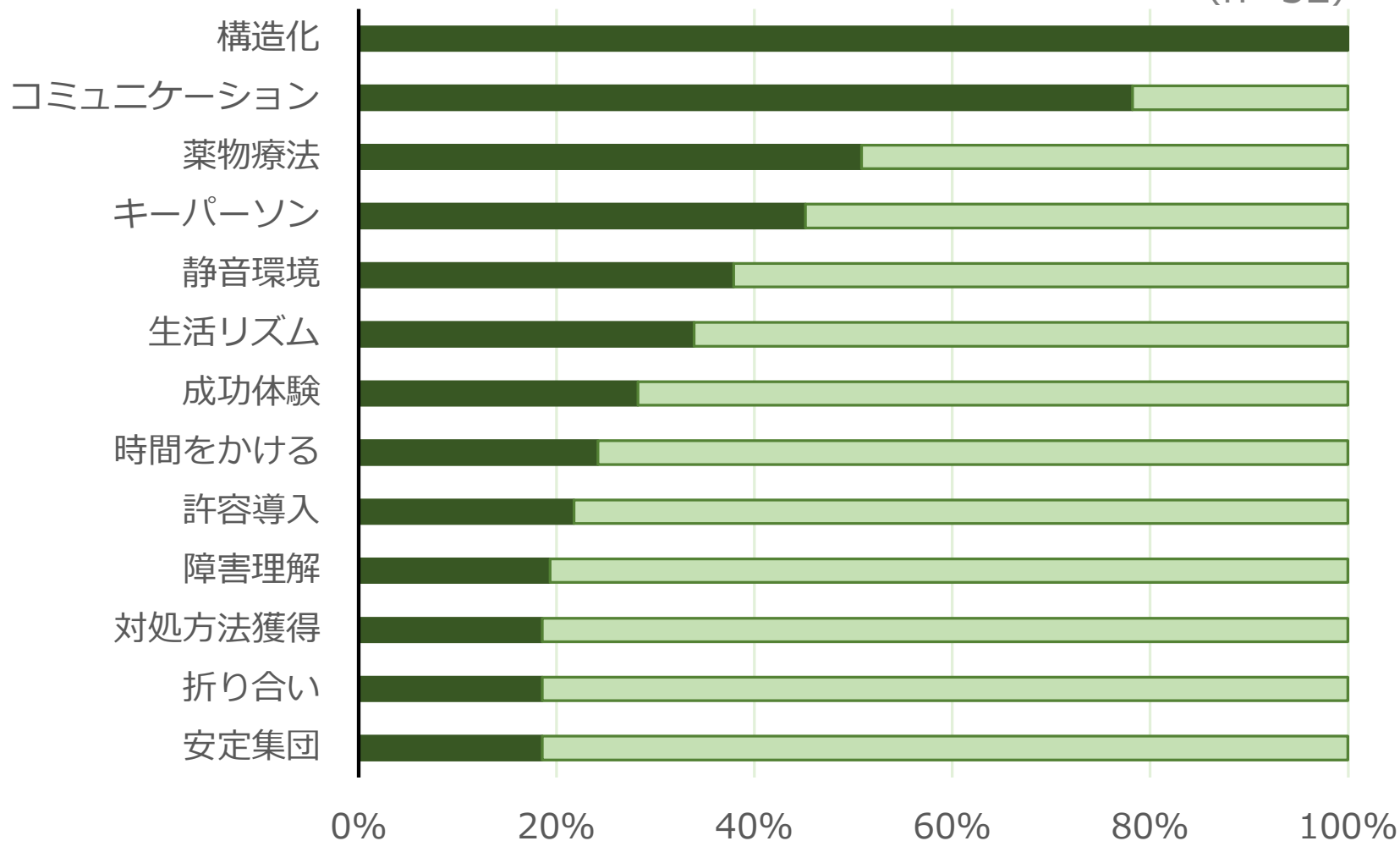
# なぜ強度行動障害になるのか？



**障害特性 × 環境要因 ⇒ 強度行動障害**

# 強度行動障害に有効だった支援

(n=32)



(飯田, 2004)

# 共通する支援の枠組み

- ☑ 構造化された環境の中で
- ☑ 医療と連携しながら
- ☑ リラックスできる強い刺激を避けた環境で
- ☑ 一貫した対応をできるチームを作り
- ☑ 自尊心を持ちひとりでできる活動を増やし
- ☑ 地域で継続的に生活できる体制づくりを進める



# まとめ | 強度行動障害とは

## ⇒ 重度・最重度の知的障害を伴う自閉症児者が中心

- 反社会的な行動のある人、精神科的な症状が顕著な人は別の枠組みで考える

## ⇒ 強度行動障害は環境との相互作用で引き起こされる

- 行動障害になるにはそれなりの理由がある

## ⇒ 強度行動障害への支援にはスタンダードがある

- 構造化された環境の中で
- 医療と連携しながら
- リラックスできる強い刺激を避けた環境で
- 一貫した対応をできるチームを作り
- 自尊心を持ちひとりでできる活動を増やし
- 地域で継続的に生活できる体制づくりを進める